

✓ パラグアイ共和国の紹介

パラグアイは南米大陸の中心に位置する国です。アルゼンチンやブラジルなどと国境を接しており、海はありません。日本との距離は約 18,000 キロで、飛行機で行くには最低でも 2 回の乗り換えが必要です。日本のちょうど反対側に位置しているので、ヨーロッパや中東を経由するルートと、アメリカを経由するルート、どちらのルートを通っても 30 時間以上かかります。青年海外協力隊が派遣されている国の中では、日本から最も遠い国といえます。



✓ パラグアイ共和国の概要 (外務省基礎データより)

国名	パラグアイ共和国
首都	アスンシオン
総面積	40 万 6,752 平方キロメートル (日本の約 1.1 倍)
人口	約 685 万人 (2016 年, パラグアイ統計局)
民族	混血 (白人と先住民) 95%, 先住民 2%, 欧州系 2%, その他 1%
宗教	主にカトリック (信教の自由は憲法で保障)
言語	スペイン語, グアラニー語 (ともに公用語)
通貨	グアラニー (1 ドル≒5500 グアラニー)

パラグアイの国土は日本の約 1.1 倍ですが、西部はチャコ地方と呼ばれる乾燥地帯で、ほとんど人が住んでいません。原住民族のグアラニー族が使用するグアラニー語も、スペイン語と共に公用語として定められており、地方ではもちろん、首都でも多くの方がグアラニー語を話します。パラグアイに住んでいる多くの方はスペイン語とグアラニー語を自然に使い分けることができます。

また、パラグアイの国旗は、世界で唯一、表と裏で図柄の一部が異なるという珍しい特徴を持っています。国旗に使われている 3 色のうち、赤は勇気と愛国心、白は平和と清廉、青は自由と秩序を表しています。中央の紋章は、旗の表が独立記念日の“5 月の星”、ヤシやオリーブの葉、そして国名などが描かれた国章、裏は自由の帽子とライオン、「平和と正義」と書かれた国章の証印が使われています。

(表)



(裏)



✓ 任地紹介

わたしの配属先である“日本パラグアイ学院”(現地語名: Colegio Japonés Paraguayo) は、パラグアイ共和国の首都、アスンシオンにあります。「セントロ」と呼ばれる旧市街地には大統領官邸や国会議事堂、霊廟などがあり、古い街並みが残っています。新市街地にはショッピングセンターやオフィスビルなどが立ち並び、JICA オフィスも新市街地にあります。日本から見て地球の反対側にあるパラグアイですが、実は 80 年前から日本人の移住が始まり、各地に日系移住地が作られ、それが今も残っています。そのため、首都には日本食レストランが多くあり、日本の 100 円ショップのようなお店にいけば日本の雑貨も買うことが出来ます。一昨年、2016 年は日本人のパラグアイ移住 80 周年だったこともあり、様々なイベントごとが開催されたり、眞子内親王殿下がパラグアイを訪れたりしました。

✓ 配属先紹介

わたしは青年海外協力隊、平成 28 年度 1 次隊として、パラグアイの首都にある“日本パラグアイ学院”(通称日パ学院) という学校で、2016 年の 7 月から活動しています。学院には幼稚園の年少から高校 3 年生まで、約 300 人の生徒がいます。学院の名前から、日系の生徒が通っていると思われることが多いですが、日系の生徒は学院全体の 5% のみで、残りの 95% は中国系や韓国系を含む非日系、パラグアイ人です。幼稚園から日本語の時間がありますが、本格的に日本語を習い始めるのは小学 1 年生からで、高校 3 年生で卒業するまで、全生徒が日本語を勉強します。日パ学院では、日本語の授業は英語やグアラニー語のような言語科目のひとつですが、小学生・中学生は毎日日本語の授業の時間があり、高校生も週に 3 日、日本語を勉強する時間があります。

日パ学院の生徒は朝 7 時 20 分までに登校し、夕方 16 時に下校します。パラグアイの多くの学校は午前中と午後で生徒が入れ替わりますが、日パ学院では生徒は給食も学校で食べ、一日中学校にいます。わたしは生徒の登校時間に合わせて、朝 7 時から夕方 16 時半まで、配属先で活動しています。主な活動は、日本語教師の一人として生徒に日本語を教えることです。普段日本語を自然に話している日本人にとっては、あまりピンとこないかもしれませんが、日本語を教えるためには、日本語が話せること以外にも、教えるための知識が必要です。わたしは大学で学んだ日本語教育の知識を活かして、生徒に日本語を教えるとともに、要望があった時には同僚教師のサポートをしています。

✓ 提供していただいた物品について

浴衣や甚平はこれまで学院にはありませんでしたので、生徒は初めて着る浴衣にとっても喜んでいました。今後は浴衣の着付けの仕方を他の日本語教師に教え、学校行事などで生徒に着せたりして活用していきたいと思います。また紙芝居も授業で読み聞かせたりして活用していきたいと思います。本当にありがとうございました。

